

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	第二期赤羽台周辺地区における良好な住宅市街地の整備												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	北区												
計画の目標	公共交通の利便性の高いエリアである赤羽台周辺地区においては、赤羽台団地の建替事業等による、大規模な土地利用転換と敷地の有効利用化等を進めている。 団地の建替え更新の進捗とともに、居住水準の向上が図られつつあるが、都心への近接性を活かし、更に良質な市街地住宅を供給するとともに、地域の骨格となる道路・公園の整備を総合的に進めていく必要がある。 また、ファミリー層の流入と定住化を促進するため、活力と魅力ある美しい市街地環境の形成及び快適で安全な居住環境を創出していく。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	569	A	569	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初		H32末
1	居住環境向上のため、地区内住民一人当たりの公園面積を6.9㎡(H27)から7.6㎡(H31)に拡大する。 地区内の公園・児童遊園面積の合計を地区内人口で除し、地区内人口一人あたりの公園面積を算出する。 (赤羽台周辺地区住民一人あたりの公園面積) = (地区内の公園・児童遊園) (㎡) / (赤羽台周辺地区の人口) (人)	7㎡/人	㎡/人	8㎡/人
2	建替えを進めている赤羽台団地周辺および公共交通の利便性の高いエリアの人口の維持・増加及び年少、生産年齢人口比率の改善を図る。 地区内住民の総人口等を調査するとともに、公共交通の利便性の高いエリアの人口に占める年少人口、生産年齢人口を確認する。	16000人	人	16400人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
※国費対象外となっている公園区域(0.25ha)の整備完了後(H32年度以降)は7.6㎡/人となる見込み。※二期計画においては、人口維持・増加が主体となるため、人口比率の改善については、三期計画において発現する見込み。												

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	北区	直接	北区	—	—	赤羽台周辺地区住宅市街地総合整備事業	住宅市街地の整備 99.4ha	北区	■	■	■	■	■	569	0	—	
												小計						569		
											合計						569			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
東京都北区社会資本総合整備計画評価検討会		令和3年11月	
		公表の方法	
		東京都北区ホームページにて公表	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生機構賃貸住宅の建替事業は計画どおり進捗しており、平成30年度までに2,114戸を供用開始済みである。また、令和3年3月時点で147戸の建設工事が事業中で、令和6年度末までに合計約660戸の供給を予定している。 ・民間事業者による住宅供給等事業は、赤羽駅が住みやすい街ランキングの上位に入るなど、地区内の住宅供給が進んでおり、生産年齢人口や年少人口が増加傾向にある。 ・赤羽スポーツの森公園は整備済みで、赤羽台けやき公園については、令和3年度末の竣工に向けて順調に進捗しており、地区内人口一人あたりの公園面積の増進に期待ができる。 ・北区画街路第3号線は、区部における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）で優先的に整備すべき路線に位置づけられており、用地取得及び関連する設計業務を進められている状況から、令和11年度までに道路整備を完了する予定である。 ・それ以外の区画道路も都市再生機構の建替事業にあわせて順次整備が行われる予定であることから、赤羽台周辺地区の基盤の整備は順調に進捗している。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生機構賃貸住宅の建替事業により、多世代ニーズに対応した様々なタイプの住宅供給が進められることによる、ミクストコミュニティ形成への寄与。 ・赤羽スポーツの森公園や赤羽台けやき公園を整備することによる、更なるレクリエーション機会の創出、来街者の増加及びそれに伴う地域活性化等への効果。 ・大学整備による来街者の増加、地域活性化等への効果及び地域の防災機能強化への寄与。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生機構賃貸住宅の建替事業は順調に進んでおり、今後も良質な住宅供給が行われていくことや、道路、駐輪場等については、民間事業者の住宅供給事業等による地区内の人口増加、来街者の増加および防災意識の変化により、整備の必要性が高まっている状況であり、円滑な道路ネットワークの形成や、安全な歩行空間を確保するため、事業を継続する。 ・大規模団地の更新に伴う公共も含めた生活利便施設の集積やオープンスペースの整備などによる良好な生活環境を形成していく必要がある。 ・北区画街路第3号線は、引き続き、道路整備を推進していくとともに、補助第243号線については、東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）を踏まえ今後の事業化を検討していく。 ・それ以外の区画道路等の整備については、引き続き、都市再生機構の建替事業にあわせて推進をしていく。
--

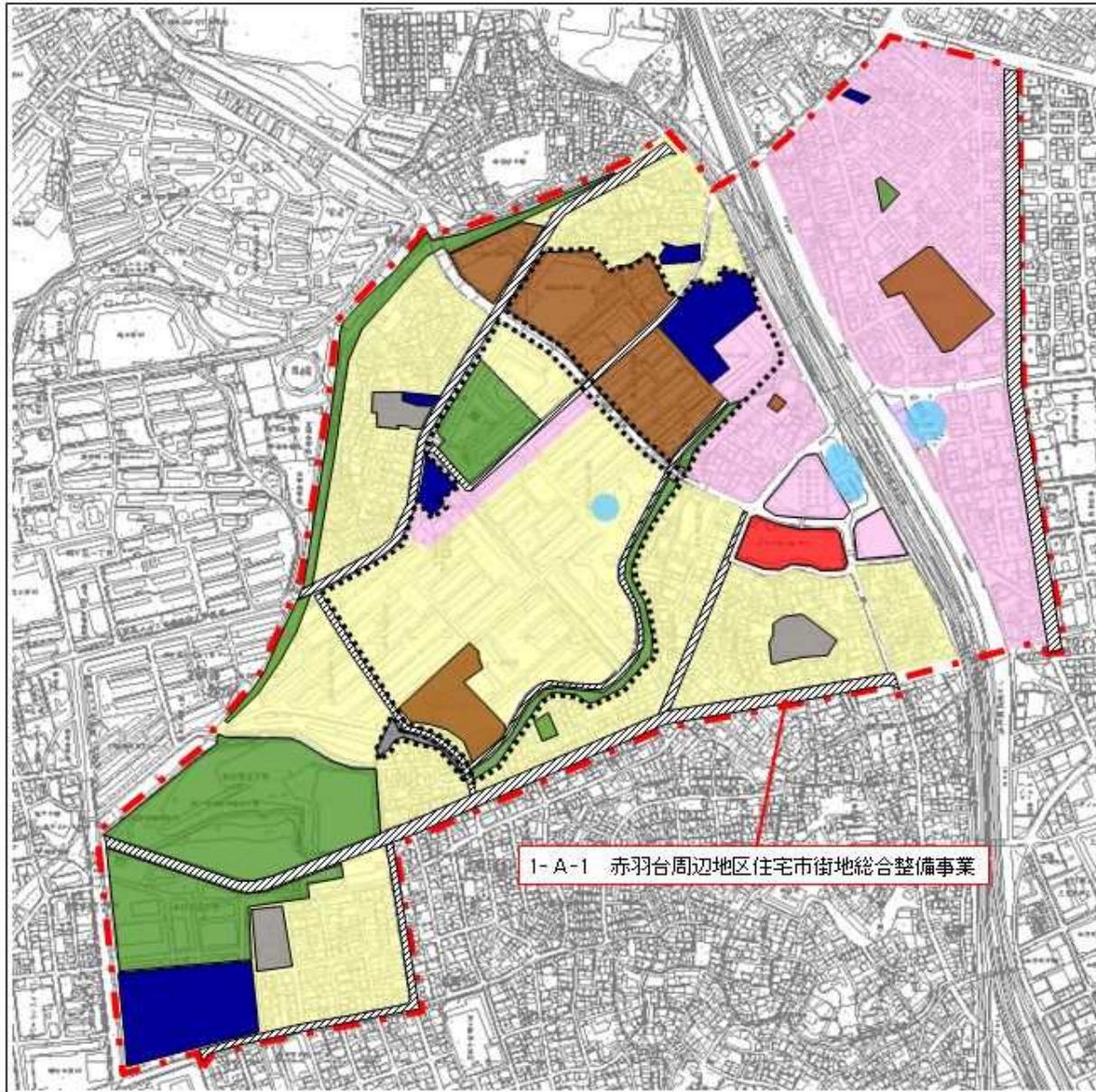
○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標①（地区内人口一人あたりの公園面積）		
	最終目標値	8㎡/人	赤羽スポーツの森公園は整備済みで、赤羽台けやき公園も令和3年度末の竣工に向けて順調に進捗している。しかし、赤羽台けやき公園の開園が遅れたこと、人口比率にもある通り、赤羽台周辺地区においては、赤羽駅が住みやすい街ランキングの上位に入るなど、地区内の人口が増えていることが要因となり、当初現況値および最終実績値は、少ない値となっている。
最終実績値	7㎡/人		
2	指標②（地区内の人口維持・増加及び年少・生産人口比率）		
	最終目標値	16400人	赤羽台周辺地区においては、都市再生機構賃貸住宅の建替事業は計画どおり進捗しており、平成30年度までに2,114戸を供用開始している。また、赤羽駅が住みやすい街ランキングの上位に入るなど、民間事業者による住宅供給が進み、子育て・ファミリー世帯の流入が進んだことから、地区内の総人口は、16,000人から16,700人に増加し目標を上回った。さらに、地区内の年少・生産年齢人口比率についても、最終目標値を当初現況値の現況維持として72.5%に設定していたが、最終実績値は74.1%となった。
最終実績値	16700人		

(参考様式3)

計画の名称	第二期赤羽台周辺地区における良好な住宅市街地の整備		東京都北区【赤羽台周辺地区】
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)	交付対象	

■整備地区計画図

全体計画図



- 住宅用地
- 複合用地
- 商業・業務用地
- 教育施設
- 公益施設(既存)
- 公益施設(計画)
- その他
- 公園・緑地
- 道路(計画)
- 主要な街区
- 整備地区

